

紛争で学校に行けない子どもたちや、
平和を望む若者たちを支えたい！

私たちは、
イスラエル・パレスチナの教育支援と
若者の国際平和交流を行う、
認定NPO法人です。



認定NPO法人
聖地のこどもを支える会



私たちのビジョン（
イスラエル・パレスチナすべての人の人権

テラ・サンクタ学院の朝礼。
(ベツレヘム)

私たちのミッション(使命)

私たちはビジョン達成に向けて、次の使命を行います。

教育支援：「教育こそ平和への確実な道」との信念のもと、暴力の連鎖を断ち切るために、子どもたちの健全な成長のために教育支援をする。

青少年国際交流：イスラエル、パレスチナと日本の若者を国際交流をとおして、次世代の平和の担い手として育成する。

普及啓発：多くの人々に中東情勢やイスラエル・パレスチナ情勢について情報発信し、平和への関心を高めてもらう。



目指すもの)

権が守られ、共存できる中東和平の実現



岩のドーム(エルサレム)


活動のポリシー(規範)

一人ひとりの「人間」を大切にすることを基本的理念とし、イスラエルとパレスチナ双方に真摯に耳を傾け、中立の立場を堅持する。

「聖地のこどもを支える会」名称の由来

「聖地」と名付けたのは、支援の対象の地イスラエル・パレスチナの中心地エルサレムが、キリスト教、イスラム教、ユダヤ教の聖地であり、一言で表せる象徴的な言葉だからです。

そして、貧困家庭の子どもへの学校教育支援を目的に活動を始めたので、「こどもを支える会」と名付けました。



「聖地」に生きる すべての子どもたちに、 豊かな人間教育を

紛争のいちばんの犠牲者は、子どもたち

中東情勢がますます混迷する中で、すべての原因であるイスラエル・パレスチナ紛争の出口が全く見えません。現地では、メディアで報道されないさまざまな人権侵害があり、犠牲者が増え続けています。貧困のため学校に行けず、基礎的な教育すら受けられない子どもが数多くいます。

紛争の狭間に生きる子どもたちが、互いの国を理解し、対話で平和をつくる人に成長する、そのためには豊かな人間教育を受けることが必要です。

当法人が1990年以来、皆様のご寄付のおかげで行ってきた教育支援の総額は、約1億2千万円、就学できた児童数は8千人を超えます。2009年には、顔の見える支援の形として、里親制度も始めました。



皆様の
ご支援により
今までに

8000人以上の子どもたちが
学校に通うことができました。

皆様からの支援金は……

エルサレム・バチカン大使館付属
学校・学院のための【連帯事務局】

と協力して、宗教や人種を問わず 援助を必要としている
子どもたちの学校へ届けられます。

名誉殺人*を免れた子どもをあずかる
飼い葉桶乳児院(バツレヘム)

*イスラム教の一部では、婚外で生まれた子とその母親は「家族の名誉を守るため」として殺害する風習があります。かろうじて助かった赤ちゃんも、生い立ちから、社会的立場は生涯厳しく…。生まれるいのちに善悪はなく、幸せに成長してほしいとの願いで、100年以上前から保育活動を続けています。





青少年国際交流事業

平和を担う人を育てる

友だちになれば、敵じゃない

平和教育と「対話」こそが中東和平実現のカギ！ 当法人の国際交流プロジェクトはイスラエル、パレスチナ、日本——3つの国の若者が共同生活を送るのが特徴です。2005年の初回プロジェクト以来、すでに10回以上の事業を実施、参加者は延べ180人を超えています。開催地は、広島、長崎、イスラエル・パレスチナなど毎年変わります。2011年からは5回にわたって日本大



「平和の架け橋in東北2011」。
宮城県桂島にて。

震災の被災地で、復興ボランティア活動を通して平和の意味を考えました。16年は音楽とダンスをテーマに長野で、文化交流。イスラエル・パレスチナの人々は互いの国が敵対関係にあるため、日常的にほとんど言葉を交わしません。そんな青年たちにとって「平和共存」の可能性を体験できる貴重な機会を提供しています。

「平和の架け橋in長野2016」。東京JICAにて。



〈スタディ・ツアー〉での一コマ。

日本の若者がイスラエル・パレスチナ紛争の実情を自分の目で見て体験するスタディ・ツアー「平和を願う対話の旅」は毎年実施されています。当法人の青少年交流事業への参加体験はインパクトが非常に大きく、すでに国連やJICAなど国際機関やNGOでの活動を始めたりしている者など、将来の平和の担い手としての成長を続けています。

普及啓発事業

イスラエル・パレスチナ問題を始め、中東に関する理解を深めてもらうため、また当法人の教育支援事業や青少年国際交流事業などについて支援者や支援団体に向けて情報を発信し、また各種のイベントを実施しています。

- ◎ 講演会、チャリティー・イベント、中東問題セミナー、勉強会など
- ◎ ホームページやSNS、ブログなどによる情報発信
- ◎ ニュースレター「オリーブの木」(年4回)、プロジェクト報告書、その他の刊行物の発行



聖地のこども

検索

あなたのお力でNPO活動を支えてください

私たちの活動は、会員の皆さまの会費や寄付によって支えられています。会員として、定期的な支援にご協力をお願いいたします。入会をご希望の方は下記までご連絡ください。

認定NPO法人 聖地のこどもを支える会への
ご寄付は、税制優遇が受けられます。



認定NPO法人
聖地のこどもを支える会

〒164-0003 東京都中野区東中野5-8-7-502

TEL & FAX **03-6908-6571**

E-mail : ispalejpn@gmail.com

<http://seichi-no-kodomo.org>